

日本レディースバドミントン連盟だより



Vol.12

J.L.B.F

理事長退任にあたり

村井 広美



本年日本レディースバドミントン連盟創立30周年を迎えますことは誠に慶賀なことであり、皆様と共に祝いたいと思います。昭和58年東京都板橋区小豆沢体育館にて産声を上げた当連盟は、規約を制定、「第一回家庭婦人バドミントン大会都道府県対抗」を開催し、活動をスタート致しました。私は玉手庸氏、根岸知子氏を経て平成12年に三代目連盟理事長を拝命致し、事務局も大阪へ移転致しました。それから12年間、微力ながら理事長としての職責を全うするべく努めてまいりましたが、念願であった事務局東京返還の準備も整い、本年を以って理事長を退任いたします。

全国的な活動としては、全都道府県からくまなく参加出来る夢のある大会を持つことでした。すでに開催されていた全日本選手権大会(都道府県対抗・クラブ対抗)の団体戦に加え、東西大会を経て全日本競技大会(個人戦)を開催致しました。平成21年には、それまで大阪府レディース連盟で主催主管されていた国際親善レディースバドミントン大会を、公益財団法人日本バドミントン協会との共催として本連盟に移管し、BWFの承認大会としました。冠協賛もいたいただき年々参加数も増加し、国際交流の場としても実績を重ね、楽しく夢のある大会として親しまれていくことは皆様周知の通りです。ここに於いて日本レディースバドミントン連盟は3大会を擁することとなり、あまねく女性がバドミントンを通じた技術向上と、生涯を通じてスポーツを楽しむという環境を整えることが出来たと自負しています。

今後の課題としては若年層の取り込みが重要だと思えます。生涯スポーツの実践は着実に進展していますが、片や技術向上の観点からも、エネルギーシユな連盟を作るためには何と云っても若い世代が喜んで参加出来るような魅力ある連盟を作らねばなりません。練習時間を週末や夜等にも設定する、大会開催は平日を避けるなど、仕事や子育てと両立できるようなシステムを



大阪事務局スタッフ
後列 廣瀬 百野 川副 向井
前列 村井 土肥

取り入れながら工夫を重ね、若い世代が自由に練習や試合参加出来る連盟であつて欲しいと模索をしています。具体的な展開は次に続く世代へバトンタッチすることとなりますが、登録人数が増加し、年齢層も変化し、社会的な状況も変化をしています中で、組織の状況に合わせた運営体制を取り、柔軟で風通しの良い連盟であつてほしいものと念願しています。そして新たな目標に向かって前進し進化する連盟であつて欲しいと期待し、退任の挨拶と致します。理事長在任中にご協力を頂いた関係各方面の皆様、心より感謝を申し上げます。有難うございました。

理事長就任挨拶



民谷千寿子

このたび開催されました当連盟の総会において役員改選が行われ、村井理事長の後を継ぎ新理事長に就任させていただきましたことになりました。

前任の村井理事長が十余年にわたり粉骨砕身され、これまでに育て上げられた当連盟をお預かりするにあたり、大変身の引き締まる思いをいたしております。幸いにして、当連盟の組織体制は強固なものになりつつありますが、更なる発展に向けては改革を要する部分も多々見受けられます。ひとつひとつの課題を真摯に受け止め、一歩ずつ着実に歩を進めて参りたいと思っておりますが、さしあたっては、日本レディースバドミントン連盟が主催いたします主要大会において、すべての都道府県からの選手の参加を実現したいと考えているところでございます。

今後は、村井理事長のもとで学んだことを継続し活かしながら、新たに加わった役員を始め、各都道府県レディース連盟会員の皆様の力の輪を結集することで、将来に亘って発展していく連盟の土台作りをさせていただきます。

また、各地域の意見を積極的に取り入れ、役員の皆様と共に当連盟の発展に寄与したいと考えて居りますので、今後とも変わらぬ温かいご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、理事長就任のご挨拶とさせていただきます。

海外派遣事業報告



Morning Cup

☆台北

Morning Cup International Badminton Invitational Championships 2012

〈日時〉 2012年4月13日(金)~4月15日(日)

〈会場〉 台北體育館 台北市南京東路4段10號

〈結果〉 俵 由紀路・大北朱美 25歳甲 4位 滋賀県
西城真理子・高崎朋子 30歳甲 優勝 東京都
金子 正子・松山裕子 40歳甲 優勝 福岡県



Kumpoo Cup

☆マレーシア

41st Kumpoo World Morning Cup Badminton Championships 2012

〈日時〉 2012年7月13日(金)~7月15日(日)

〈会場〉 Micael's Badminton Academy Selangor, Malaysia

〈結果〉 松隈美千穂・引地 恵 30歳A 優勝 熊本県
山本 邦子・児玉 幸代 50歳A 3位 奈良県

あしなが育英会へ義援金寄贈



12月11日に関西エリアの拠点になっている神戸市のレインボーハウスへ義援金990,552円を届けに行きました。

あしなが育英会では、すでに1967名東北の震災の遺児に一時金200万円を届けました。

今は、こころのケアセンター「レインボーハウス」の建設のための資金を集めています。

日本レディースからの義援金も「レインボーハウス」の建設資金に充てるそうです。今後、仙台・石巻・宮古などに開設を計画しているが、町の復興がまだまだの中、場所探しも難行しているようですが、宮古では土地を買い建設が始まっているそうです。

25年度も引続きつづけていきますので皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

平成 25 年度

日本レディース連盟大会日程表

第 31 回 全日本レディースバドミントン選手権大会 (都道府県対抗) (クラブ対抗) (案)

期 日 平成 25 年 7 月 25 日 (木)~28 日 (日)
会 場 神奈川県小田原市総合文化体育館 (小田原アリーナ)
監督会議 7 月 25 日 (木) 14:30~
神奈川県足柄下郡箱根町湯本 箱根湯本富士屋ホテル
開 会 式 7 月 25 日 (木) 16:30~
競 技 7 月 26 日 (金)
27 日 (土)
28 日 (日)
閉 会 式 28 日 (日) 競技終了後

ヨネックス杯 国際親善レディースバドミントン大会 2013 (案)

期 日 平成 25 年 10 月 24 日 (木)~27 日 (日)
会 場 BODY MAKER コロシアム (大阪府立体育会館)
大阪市立浪速スポーツセンター
代表者会議 10 月 24 日 (木) 16:30
開 会 式 10 月 24 日 (木) 17:10
競 技 10 月 25 日 (金)
26 日 (土)
27 日 (日)
閉 会 式 競技終了後

第 8 回 全日本レディースバドミントン競技大会 (個人戦) (案)

期 日 平成 25 年 12 月
6 日 (金) 7 日 (土) 8 日 (日)
会 場 岐阜県メモリアルセンター
山県市総合体育館
代表者会議 12 月 6 日 (金) 15:30
岐阜グランドホテル
開 会 式 6 日 (金) 16:30
競 技 7 日 (土)
8 日 (日)
閉 会 式 8 日 (日) 競技終了後

平成 25 年度オープン大会日程表

Table with 4 columns: 開催日, 大会名, 開催地, 会場. It lists various badminton tournaments across Japan from May to March.

ロンドンオリンピックにて国際線審

百野 郁子

日本のバドミントン界にとって初のメダル獲得となったロンドンオリンピック。その場に審判として参加させていただけことは、一生記憶に残る貴重な体験でした。バドミントンはオリンピック開催期間の前半の競技だったので、開会式にも参加させていただきました。実際に見る開会式は本当に素晴らしく夢のようで、自分がその場にいることが信じられない思いをしました。開会式は夜中の 1 時過ぎまで続き、私たち審判が帰る頃にはまだ、P マッカートニーが「ヘイ・ジュード」を歌っていました。

翌日から始まった予選リーグの審判は、予想以上に厳しい担務でした。勿論 4 年に一度の大会です。出場選手の思いも他の国際大会とは全く違うものと言うことを肌で感じ、その緊張感で足が震えました。予選リーグが終わる頃にやっと実感がこみ上げてきたのを思い出します。最後の担務は男子ダブルス決勝の線審でした。林丹とリーチョンウェイの息が詰まるような熱戦を待機場所で見ながら、徐々に緊張が高まっていき、会場に入場するときには緊張もピークに達しました。試合は 2 ゲームで終了しましたが、退場したときには線審をしていた女性陣は安堵と感動で涙が止まりませんでした。

審判で派遣されたとはいえ、同じ日本選手の活躍にはやはり興奮しました。女子ダブルス決勝の朝、たまたま藤井瑞希・垣岩令佳選手と行き会いました。「頑張っつねー！」と声をかけると、素敵な笑顔で応えてくれました。その日はフリーだったので日本選手団と一緒に応援席に座りました。日本初のメダル獲得の場面に立ち会うことができ、言葉にならないほどの感動を覚えました。

国際線審になってからずっと見守り応援して下さった役員の方々や友達、私を支え指導して下さいましたすべての皆様に心から感謝いたします。このような素晴らしい機会を本当にありがとうございました。

第30回全日本レディースバドミントン選手権大会

期日 平成24年7月31日(火)～8月3日(金)
会場 北海道立総合体育センター(北海きたえーる)



北海道レディースバドミントン連盟

理事長 渡辺 由美子

第30回全日本レディースバドミントン選手権大会を北海道立総合体育センター(北海きたえーる)に於いて都道府県対抗40チーム、クラブ対抗51チーム、総勢870名の選手をお迎えし開催致しました。北海道では第10回、第19回、そして今回の第30回大会を開催させて頂き、とても光栄な事でしたが、役員・スタッフも多数変わっておいりましたので本当にゼロからのスタートとなりました。開催決定は数年前から聞いておりましたが、遠藤静子北海道レディース連盟理事長が平成23年2月に体調不良により療養生活に入り、副理事長でありました自分が理事長という大役を引き受け全日本大会を迎える事となり、不安の中から準備が始まりました。準備期間中に於いては日本レディース連盟役員の方々には多大なご迷惑、ご心配をおかけいたしました大変感謝に思っております。

会場となりました北海きたえーるは、メインアリーナ20面、サブアリーナ8面と計28面使用可能でしたが、参加チーム数に合わせサブアリーナ4面を使用し広々とした中で試合が行われた事と思います。尚、大会期間中は多々問題点・反省点もあり参加して頂いた選手の皆様にはご迷惑をおかけしました事を深くお詫び申し上げます。

懇親会は、サッポロビール園に於いて350名程の参加がありにぎやかな中で、ジンギスカン・サッポロビール等と堪能して頂きました。木本北海道レディース連盟会長がいつもおっしゃっていた事は、「選手が北海道に来て『美味しい物を食べに来て良かった』『楽しかった』と言って頂ければこの大会は成功したと思えば良い」との事でしたが皆様からは大好評で本当に会長がおっしゃっていた通りとなったと思います。

大会開催にあたり御協力御支援を賜りました(公財)日本バドミントン協会・日本レディースバドミントン連盟・北海道バドミントン協会とより各地区協会・各地区レディース連盟・特別協賛を頂き

ましたヨネックス株式会社を始め協賛各位の皆様には心より厚く御礼申し上げます。並びに本大会に携わって下さいましたスタッフを始め全ての皆様にも心より感謝申し上げます。有難うございました。

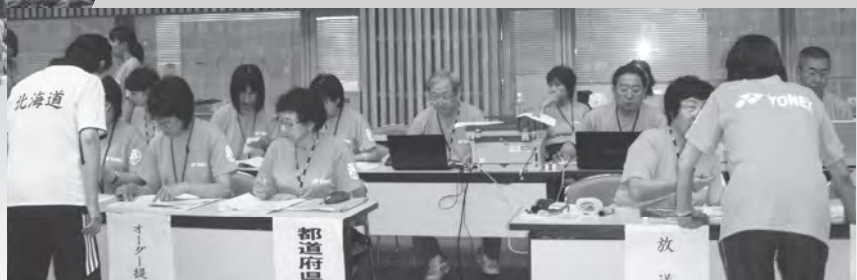
選手宣誓
北海道チーム
鈴木知子



入賞メダル



スタッフの皆様



クラブ 対 抗 戦



★優勝★ 岡崎フェニックス (愛知県)

スポーツは一人ではできない。一緒に切磋琢磨する仲間がいる。スポーツをする。試合をする。そこには自分自身の努力がある。チームメイトと築いた信頼がある。支えてくれる人たちへの感謝がある。(フェアプレイで日本を元気に。引用) 本当に頑張った選手に感謝です。有難うございました。



★準優勝★ 姫路 (兵庫県)

悲願の全国大会上位入賞、みんな県予選から一丸となって戦う事ができました。本当に楽しい試合ができたと思います。又、目標に向かって頑張りたいと思います。



★3位★ 豊田 (愛知県)

11年前の北海道で3位、今年こそは優勝を狙いやってきました(50代5人)。しかし、若者のパワーにおされ結果はまたまた3位、次回は豊田も若い人たちを育てまた挑戦します！とってもいい経験になりました。有り難うございました。



★3位★ 勇羽飛 (栃木県)

創立3年目で全国大会に初出場し、3位という成績を残す事が出来たことをとても嬉しく思います。これまで支えてくださった皆様から心から感謝するとともにこれからも優勝目指して頑張りたいと思います。本当に有り難うございました。

都 道 府 県 対 抗 戦



★優勝★ 福岡県

今年は決勝トーナメントからの出場で、選手達のコンディションが心配でしたが、選手一丸となって試合、応援共に続けましたが連続優勝ができて本当によかったと思います。又、来年を目指して頑張っていきたいです。



★準優勝★ 大阪府

すがすがしい北の大地でリベンジを図りましたが福岡の勢は崩せませんでした。今日を目標に全員で頑張りましたことに悔いはありません。お世話になった皆様有り難うございました。私達は何度でも挑戦し戻ってまいります。北海道の皆様ありがとう。



★3位★ 岡山県

前回の北海道大会では、予選リーグ敗退でした。それから上位入賞を目指し強化してきました。なかなかベスト4の壁を越えられませんでした。今回遠方にも関わらず各年代のベストメンバーが参加してくれた事に感謝し開催にあたりお世話頂いた皆様に御礼申し上げます。



★3位★ 奈良県

第30回記念大会を機に大シード制が導入され、前年度の恩恵に預かり今年も来年へと繋がる3位という成績を修める事が出来大きな喜びです。開催にあたりお世話になりました日本レディース連盟並びに北海道連盟の役員の皆様・関係各位の皆様大変ありがとうございました。

YONEX Cup International Friendship Ladies Badminton Tournament 2012

Date: Wednesday Oct.24,2012-Saturday Oct.27,2012 OSAKA,JAPAN

ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2012

本年は海外14チームを含む合計231チームのご参加をいただき、終日熱戦が繰り広げられました。

この大会が他の大会と違うところは文字通り、海外選手の存在です。今回は初参加にベトナムチームがありました。世界共通の言葉が欲しい瞬間、なくとも通じ合える瞬間、様々なハプニングが今年もコート内外で起こっていました。エントリーホームを送った国からだけでなく、インターネットでダイレクトに申込みれるケースも出てきました。私たちはホストとして、各国の選手団を迎え、国内の選手ともども気持ちよくスムーズな試合参加をして頂ける様お手伝いすることを旨としています。

競技の上では、Aゾーンには個人としても注目される選手の方々の参加が多くなつてきており、レベルの高さを感じます。今回から新しく編成の変わったBゾーンも、Aゾーンに迫るような対戦も多くなり、ますます激戦化していく傾向にあります。1995年に第1回を開催した当初、団体編成はA、Dの4ゾーン迄でした。18回となる今年は、合算年齢編成ゾーンの年齢枠変更も含めA、Hの8ゾーン編成となりました。大会に参加される方々のニーズに応え、新しい試みも取り入れながら、進化する水準の高い国際大会になる様、今後も出来るだけ工夫を重ね、努力していきたいと考えています。

大阪府レディースバドミントン連盟

副理事長・競技部長

木村 幸子

今回の大会では冠協賛を頂いておりますヨネックス株式会社様よりアドバイザリースタッフ小椋久美子さんにご来場いただき、復興の願いを込めてスポーツを通じて東北へエールを送ったこと、海外選手との交流の場を設け、各国の民族衣装や着物を用意し、袖を通して楽しんで頂いたこと、私たちは色々な企画検討を行いながら記憶に残る大会となるよう願っています。試合の合間をみて、このような企画に参加していただいた参加選手の皆様に感謝致します。

私共大阪府レディース連盟の村井広美会長が2013年5月開催のBWF年次総会で「女性大賞」を受賞できることが内定しています。今までの国際親善大会における功績を評価されたことであり、ここまで積み上げてきた努力の成果であると、今更ながらその大きさに驚きと誇り、そして喜びを感じています。今年の大会も心をこめて準備を進めていきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



選手宣誓 YONEX
 亀谷 望 (右)
 佐々木 彩 (左)



閉会式にて



D ゾーン優勝 沙羅クラブ



A ゾーン優勝 YONEX



E ゾーン優勝 四日市クラブ



A ゾーン準優勝 大阪



F ゾーン優勝 東京 A



A ゾーン 3 位 KOREA A



G ゾーン優勝 東京 C



H ゾーン優勝 東京 D



C ゾーン優勝 Chinese Taipei B



B ゾーン優勝 福岡レディース

選抜チーム A ゾーン LADY'S JAPAN



監督 小国 久美

日本代表チームの監督という大役を仰せつかりどれ程の事が出来るであろうかと不安でしたが、チームの皆さんが和気あいあいと盛りあげてくださり楽しくゲームを見守る事ができ感謝しています。

総 評

初戦が韓国という事でもう少し慣れてから対戦出来たら良かったなという思いがありました。準決勝、三決と残念な結果でしたが、それぞれの試合を精一杯戦ってくださったと思います。

- ★西城 真理子 (東京都) 最高のメンバーで試合ができて良かったです。
- ★岩井 直子 (東京都) 楽しいチームメイトと緊張感のある試合が出来、とても良い経験になりました。
- ★末永 友香 (鹿児島県) 2年連続で出場させて頂いてとてもいい経験が出来ました。又、次に生かせる様に頑張りたいと思います。
- ★草ノ瀬 郁美 (鹿児島県) 昨年に続き2度目の参加になりましたが、とても貴重な経験になりました。このチームで試合が出来た事に感謝の気持ちでいっぱいです。
- ★大北 朱美 (滋賀県) すごいチームから参加させて頂いたのでただ精一杯自分のできることをしたいと思いました。
- ★俵 由紀路 (滋賀県) とにかく場違い！という想いでしかありません。私達がこの様な凄いチームに出させて頂き貴重な経験をさせて頂いた事に感謝の気持ちでいっぱいです。

小 椋 久美子さんご来場



ヨネックスアドバイザースタッフ小椋久美子さん来場。大勢のファンと一緒に写真撮影会、サイン会、ワンポイントレッスン会場を設けスポーツを通じて東北にエールを送りました。

国際大会 レセプション

マレーシア チーム



香港 チーム



日本協会 日本レディース連盟 役員



ベトナム選手

第7回全日本レディースバドミントン競技大会（個人戦）

徳島県レディースバドミントン連盟

理事長 宮本 弘恵

期日 平成24年12月22日(土)～24日(月)
会場 鳴門アミノバリュール
徳島市立体育館

平成24年12月22日～24日、鳴門アミノバリュール、徳島市立体育館に41都道府県724名の選手をお迎えして、徳島県バドミントン協会、徳島県レディースバドミントン連盟の主管で第7回全日本レディースバドミントン競技大会（個人戦）を開催させていただきました。

本大会が四国ブロックでの開催決定を受け、当時日レの副理事長をされていた香川県の白井理事長様から徳島県での開催を打診されたのは三年前でした。真に晴天の霹靂でした。恥ずかしながら、当連盟は、日レへの個人登録者数が極めて少なく、全国大会を開催できるだけのスタッフを集める事など不可能だと判断し、私はとっさに「徳島では無理です。」と固辞しましたが、四国ブロックで全国大会規模の大会を開催していかないのは徳島だけでしたので、他三県の理事長様に背中を押されるようにして、お受けするお返事をさせて頂きました。幸いにも、県協会、各連盟の方々からご協力頂けるとの力強いお約束をして頂き、やっとの思いで大会開催に向けての一步を踏み出したわけです。

しかしながら、わずか十数名の役員さんだけで大会を無事やり遂げることが出来るだろうかという不安はその後大会前日まで払拭することはありませんでした。

特に第6回の長野大会を視察させて頂いた時、役員及びスタッフの多さ、また立派な大会運営を目の辺りにし、その不安は益々大きくなるばかりでしたが、ただその時、「派手なことは出来ないかも知れないけど、私たちの身の丈にあった徳島らしいやり方から声をあげ、その時少し気持ちが軽くなったのを今でも覚えています。」

それから、日本レディース連盟の役員様に懇切丁寧に指導いただき、本当に手探り状態で一步一步準備を進めて参りました。とりわけ一番苦労したのは主審のスタッフを集めることでした。審判講習会を数回開催しましたが、主審となるとしり込みする方がほとんどでした。しかし、その中でも県内の大学生の皆さんが快く引き受けてくださり、なんと数百名を集めることができました。

大会開催前日まで準備に時間をとられ大会運営中は何かと行き届かない点が多々あったかと思われませんが、本部役員の皆様方より心温まるお言葉をかけていただき本当に有難うございました。そして何よりも年末の多忙な時期にご参加くださいました、全国の選手の皆様方にも頭が下がっていると思います。

大会開催にあたり、ご支援、ご尽力を頂きました（公財）日本バドミントン協会、日本レディースバドミントン連盟、特別協賛を頂



選手宣誓（やまもも）
小建 知子
株本 球美

きましたミスノ株式会社様をはじめ、協賛各社、前年開催地の長野県連盟、四国ブロック各連盟、徳島県内の関係各位の皆様方に心より感謝申し上げます。結びに本大会の益々のご発展をご祈念申し上げます。大会のご報告とさせていただきます。



1部 優勝 福岡県 谷口 智美・古賀 さやみ
今回この大会に初めて参加しました。嬉しいのと共にホッと
しています。県レディースの練習会や、社会人クラブで多く
の方に相手をしてもらい、ご指導していただいたお陰だと思
います。これからも多くの方に支えて貰いながらもっともっ
と上を目指して頑張っていきたいと思っています。

懇親会

人形浄瑠璃



阿波踊り

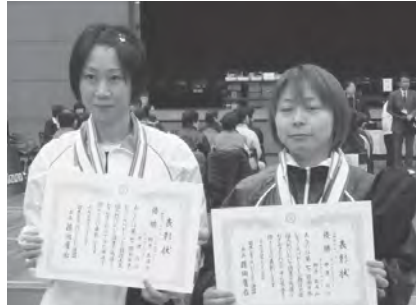


2 部 優 勝 者



Aブロック 愛知県 高井亜季代
真田 範子

今年の夏から一緒に練習をして頑張ってきました。初めての全日本レディースの個人戦で、とても緊張しましたが、一つ一つ勝つことができとても自信ができました。来年は1部でも優勝出来るように一生懸命頑張りたいと思います。



Bブロック 神奈川県 物井あゆみ
中津 井江

今回初めて大会に参加させていただきました。なんとか優勝はできましたがレディースの厳しさを痛感しました。この結果に満足することなく今後も精進していきたいと思ひます。徳島県のスタッフの方々もとても親切で、気持ちよくプレーできました。有り難うございました。



Cブロック 東京都 大島 実穂
高崎 朋子

2人で、協力して優勝することが出来ました。反省としては環境に左右されることなく自分のプレーができるようになることです。試合、進行等徳島県の方のご尽力有り難うございます。



Dブロック 福井県 岡田 忍
近葉 裕子

初めて参加させて頂いていろいろな方と試合が出来てとても楽しかったです。予選、決勝と合わせて3試合もファイナルという接戦で充実した2日間でした。これからも沢山練習して、又優勝出来る様に頑張ります。徳島県の皆様有り難うございました。



Eブロック 広島県 井下由紀子
松原 春美

今回もケガだらけで臨みどうなるかと一戦一戦を必死で戦ってきましたが、3年連続優勝出来たことが非常にうれしいです。



Fブロック 愛知県 門間由美子
太田 礼子

日頃の練習の成果を発揮し悔いを残さないよう頑張ろうとした結果が優勝でとても喜んでます。



Gブロック 東京都 宮崎美江子
田倉ティ子

大変お世話になりました。昨年は年齢的に厳しかったのでランクアップした今年頑張れて嬉しいです。次回も元気で参加したいと思います。ありがとうございました。



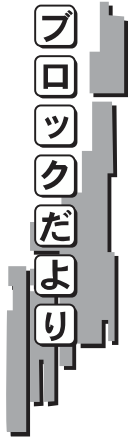
Hブロック 神奈川県 大庭 弘子
佐藤マツノ

昨年は準優勝で少し悔しい思いもありそれから1年体力面やメンタル面の強化に努めました。2人の力を信じ頑張りました。今年は優勝でき感激しています。大会に参加でき本当に幸せです。有り難うございました。



Iブロック 長崎県 本田 綾子
愛知県 道家 幸

70才になり、永い間パートナーだった道家さんと優勝する事が出来てとても嬉しいです。お互いに遠く試合を重ねるうちお互いのプレーが分かり楽しくプレーが出来たことが一番嬉しいことです。



北海道ブロック理事

北海道 永井 恭子

昨年、北海道札幌市において開催された「全日本レディース選手権大会」には、全国各地からたくさんの方々の選手・役員の方々に参加頂きありがとうございました。

今年の札幌は、例年になく遅い初雪（11/18）でしたが、その初雪が解けることなくそのまま根雪になり、寒さ・降雪量とも例年になく厳しい冬となりました。

このような気象条件、交通事情もあり、冬期に開催されます全日本個人戦には北海道のチームからはなかなか参加することが出来ないのが現状です。

私は、平成23年1月に大分県で開催されました時に参加させて頂きましたが、体育館の寒さにビックリ!!北海道では、暖房の利いた体育館で温々とプレーしていますので寒さに震えました。夏はその反対で、冷房の無い体育科がほとんどなので夏・冬関係なしに汗をかいています。

今年も6月5日・6日に「北海道立総合体育センター」において「第11回よさこいそーらんオープン大会」が開催されます。北海道の爽やかな初夏と美味しい食べ物

を満喫して頂きたく、多くの皆様の参加をお待ち申し上げます。

東北ブロック評議員

山形県 佐藤美代子

平成24年度より、山形県の理事長に就任しました、佐藤です。皆様宜しくお願

います。バドミントン大好き人間で、プレーヤーとしても、バドミントンに関する仕事にも、全てに熱く山形の東北の熱く闘う戦士として、日本レディースの評議員もがんばらせて頂きます。

さて、山形県は、バドミントン愛好者の登録人数は少なく、全国的に見ればまだまだ弱小県ではあります。しかし、新しく組織も変わり、ようやく新たなスタート地点に立ちました。

県レディース連盟として早急に対処していることは、大きな大会をいつ迎えても良いように、審判員の拡充と資質の向上、競技運営の効率化を図るなど、役員一丸となつて頑張っているところです。全国の皆様方と早く肩を並べて歩けるようにと。さて、ここで東北ブロックの活動状況について報告します。

4月14日仙台市で理事会が開催されました。日本レディースからの報告、各県の実情などを話し合い、秋の東北レディース大会についての確認など充実した会議となりました。続いて10月20〜21日には東北地区レディースバドミントン大会が山形県で開催されました。20日に天童温泉の「天童ホテル」で総会、代表者会議、開会式、レセプション、

が行われ、開会式では、日本レディースの東北ブロック理事の西大條さん谷藤さんのあいさつもあり、試合前ではありましたが、和気藹々と親睦を深めることが出来ました。翌日21日に山形市総合スポーツセンターにて1部8チーム、2部8チーム、3部6チームで試合が行われました。1部青森県の

チーム絆、2部福島県SHUTTLE ACTIVE東北の若者達、ちよつと昔の若者達が入り交じって白熱した戦いが繰り広げられ、心に残る素晴らしい大会となりました。この大会のために何ヶ月も前から準備をし、このような実りのある大会が出来たことで、山形県の新役員

の方々も大いなる自信となってこれからバドミントンに向かっているのではないかと自負しております。

私自身も、これからは山形の発展のため、東北の発展のために貢献していけたらと思っております。何卒宜しくお願いたします。

関東ブロック評議員

神奈川県 加藤みや子

関東ブロックでは神奈川県内の主管で「第2回春季関東レディースクラブ対抗バドミントン大会」(未経験者の合計年齢240歳以上の団体戦)を5月に、「第7回秋季関東レディースクラブ対抗バドミントン大会」(経験・年齢を問わない団体戦)を11月に開催いたしました。いずれも第30回全日本レディース参加選手を除いた各都県代表選手による大会ではありますが、見ごたえのある白熱した試合が展開されました。特に秋季大会では若さと熟年の技がぶつかり合う、互いに一歩も譲らない熱戦が繰り広げられました。

平成25年度は上記2大会を、東日本震災で被害を受けた体育館の施設が復旧した茨城県で開催いたします。試験を乗り越え、選手・役員との絆が更に深まる素晴らしい大会になることでしょう。

なお、「第31回全日本レディースバドミントン選手権大会」が神奈川県で開催されます。有意義な大会となりますよう役員一同力を合わせて準備を進め、全国の皆様をお迎えしたいと思っております。

北信越ブロック

新潟県副理事長 茂沢 純子

新潟県レディースバドミントン連盟設立から平成25年10月には、20周年の節目をむかえることになりました。新潟、長岡、柏崎

上越の各支部から理事の選出から始まり、組織の強化、安定を計り、活動目標を掲げ、年間行事予定を計画し、理事会の開催、大会開催の要項作り日程会場の調整、当日の運営等、それぞれの事業がうまくまわるようになってきたのではないのでしょうか。今は登録クラブ数、部員の増加をぜひに願っています。

そして、一人でも多くの選手に県内での大会はもちろんですが、北信越ブロックの石川・富山・福井・長野県との交流大会への参加、全国大会への出場、各県のオープン大会への参加等、家族の応援を得て試合をする楽しさを味わって貰いたいと思います。新潟県連盟では大きな大会を開催するには環境が整っていない為、また、無理ですが目標を持ち大勢の皆様の協力を貰い進みたいと思っております。

東海ブロック理事

愛知県 堀尾恵美子

平成24年5月7日(月)第30回東海レディースバドミントン大会「団体戦」を愛知県日本ガイシスポーツプラザ第二競技場において、1部16チーム、2部5チームの

参加で開催し、11月10日(土)第26回東海レディースバドミントン大会「個人戦」を静岡県掛川さんりーなにおいて、年齢別6ブロック総数88組の参加で開催。東海ブロック地区活動の大会を無事に終了することが出来ました。「個人戦」においては東海四県年齢別参加数の差、コート面数不足と課題も残りましたが、調整しつつ地区大会を開催していきたいと思

ふじやまオープン(静岡県、愛知オープン(愛知県)には、多数の参加をいただき有り難うございました。

平成23年度総会を平成24年5月7日(月)に東海4県の会長、理事長、評議員の参加で行い、理事長会を平成24年11月21日(水)に行いました。

第8回全日本レディースバドミントン競技大会「個人戦」岐阜大会を平成25年12月に開催されます。東海ブロック4県、力を合わせて大会を盛り上げたいと思います。多くの選手の参加をお待ち申し上げます。

近畿ブロック理事 奈良県 山本 邦子

近畿ブロックでは、平成24年度も各府県連盟主催のオープン大会が盛んで、京都オープン(京都府) 奈良オープン(奈良県) マザーレイクフェスティバル(滋賀県) すみれオープン(兵庫県) 開催日程順が非常に盛んで近畿はもとより、近畿圏以外にも多数のご参加をいただき愛好者の交流を深めております。

又、『近畿シニアレディース親睦会』は今年で第23回を迎える大きな大会となりました。50歳以上の方々対象で、6府県が持ち回り開催をしています。一に親睦、二に楽しむ、三、四がなくて五に勝負?シニアデビューする若い?50歳が益々元気なお姉様達と仲良く交流できる場となっております。ルールもこの大会だけにある独自のものです、毎回違うパートナーとペアになる事が必須です。珍プレー好プレーあり、お楽しみ抽選会あり、年々右肩上がり参加者が増え、活気に溢れたお楽しみ団体戦として、しっかり根付いております。連盟活動といたしましては、近畿レディースバドミントン連盟総会を始め年4回の理事会、年2回の近畿大会、『近畿レディースバドミントン選手権大会、近畿レディースバドミントン競技大会(クラブ対抗)』など日頃から、理事長、副理事長が顔を合わせ

日レからの報告や各県の現状・情報を交換し、コミュニケーションと相互理解を図っています。日本レディースバドミントン連盟創立30周年の節目の年に当たり近畿ブロック一同益々の発展・振興に寄与して参りたいと思います。

中国ブロック評議員 島根県 錦織 陽子

今年5月に開催予定の中国地区レディースバドミントン選手権大会は、島根県が当番です。今年第30回という区切りの年であり、記念すべき大会として、参加者全員に記念品をお渡しする予定であります。私が理事長になって始めて巡ってきた中国大会です。

これまで30年の間には、たくさんの方々苦勞や努力があつて続いた大会であり、最初が家庭婦人連盟だった名称がレディースとなった事や、本大会に数年前から60歳の部が加わった事に時代の背景や歳月の経過も感じられます。

5年に一度開催地となる中国大会は、いつも記念大会です。これは喜ぶべき事とは思いますが、会員数の少ない我が県としては大変な事です。

全員で総力をあげて取り組み、団結力を再確認したいと思っております。又、一昨年より始めた(縁結び大会)は全国からの参加を集い今年第3回目を10月14日に予定しております。ぜひ、多くの方に神話の国へのお越しをお待ち致しております。

四国ブロック評議員 高知県 氏原 有子

四国ブロックでは、平成24年12月徳島県において「全日本レディースバドミントン選手権大会」を開催しました。四国地区開催にあたり、『四国はひとつ』を

合言葉に徳島県レディースバドミントン連盟に託し、徳島市・鳴門市の2会場で行いました。

年末にもかかわらず、たくさんの方々に参加いただき、この3日間の大会日程を無事終了することができました。大会役員、及びご支援いただいた関係者の皆様方に感謝申し上げます。

私ども四国4県では、全日本レディース各大会、国際親善レディース大会、四国レディース大会、そして各県レディースオープン大会に参加し、交流を深めバドミントンを楽しんでおります。

高知県では毎年11月「よさこいオープン大会」を開催しており、今年で5年目を迎えました。四国山脈を越えようと「龍馬のふるさと」南国土佐です。「青い海・青い空」の高知へぜひお越し下さい。

九州ブロック評議員 佐賀県 田中 恵子

平成24年10月14日、第34回全九州レディースバドミントン選手権大会を佐賀県佐賀市において、監督、選手、総勢352名の参加を得て開催いたしました。

当初は、佐賀県総合体育館一会場で開催予定でしたが、体育館の一部の火災により、急遽二会場での開催を余儀なくされました。会員百名足らずの佐賀県レディース連盟としては、会員総出の大会運営となりましたが、県バドミントン協会、九州各県レディース連盟のみなさんの御協力もあり、無事終了することができました。今回から、全日本レディースバドミントン選手権大会に倣い、30才以上の部をフリーの部としたことで、より若い選手の皆さんの参加を得、よりハイレベルな試合となりました。今後、これが九州各県のレベルアップに繋がることを念願しています。

次回大会は鹿児島県で開催されます。

事務局移転に伴い

平成25年度より、事務局が大阪から東京へ移転します。東京都新宿区新宿七、二、二七

ストーク西新宿福屋ビル四〇一 電話 〇三・三三六五・二七八五

FAX 〇三・三三六五・二二〇〇

事務局は、東京都バドミントン協会事務局の一角に入らせていただきます。これまで大阪事務局が、13年間担当された仕事を引き継ぐことは大変ですが、理事長、副理事長と共に、東京都レディースバドミントン連盟、東京都バドミントン協会、関東レディースバドミントン連盟の協力をいただきながら、連盟の運営がスムーズに進むよう、全国の皆さんと共に、より活発な連盟作りのために頑張りたいと思います。

日本レディースバドミントン連盟副理事長 東京都レディースバドミントン連盟理事長 佐野玲子

編集後記

連盟だより第12号が皆様のご協力により無事発行されました。写真・コメントなど配置に苦心致しました。これからも内容の充実を図って行きたいと思っております。(広報部) 清水 公子 井手 昌子

発行 日本レディースバドミントン連盟 大阪府八尾市福乃寺町南 一四三二一八 TEL 〇七二九三三三〇七二 FAX 〇七二九三三〇〇七二 E-mail nichijae@kawachi.zaq.ne.jp URL http://www.jlbad.gr.jp 責任者 村井広美 編集 広報部